

# C. アレクザンダー「パタンランゲージ」を素材とする 住み心地観念の記号論的分析

—その2 パタンの分析—

灰山彰好\*1 ○越智奈保子\*2

A Semiotic Analysis on the Image of Comfortable Life Expressed  
in PATTERN LANGUAGE, C. Alexander  
HAIYAMA, Akiyoshi OCHI, Nahoko

はじめに

『Pattern Language』は各地の優れた環境事例を題材に世界共通の環境生成文法の作成を目的としている。本報はアレクザンダーの求める住み心地（環境価値）を、253章のパタンランゲージ(以下 P.L)を<意味作用の単位の枠組み>を用い記号論的分析を行い、浮かび上がった12の住み心地の環境変形操作手法(レトリック)を中心に考察を試みる。

パタンの分析—12個の環境価値

## 1. Common (共通)

価値体系の「共有(share)」「共感(sympathy)」を得る「場(Common)」の創造を目的とする P.L の主なレトリックは「小さい(small)」「囲む(enclosure)」「焦点の作成(focus)」「腰掛の作成(seat)」であり、順に身近な環境での「場」の創造を具体的に示唆している。又、人の動線機能を持つ「街路(street)」「屋内での環路(loop)」のパタンを変形操作する「場」の創造手法も取り上げている。

レトリック	パタン番号
小さい (small)	22. 37. 41. 60. 67. 69. 91. 124. 149. 151. 186
囲む (enclosure)	41. 66. 124. 160. 182. 226
焦点の作成 (focus)	13. 31. 63. 69. 139. 149. 181. 182. 186. 226
腰掛の作成 (seat)	139. 149. 160. 182. 186. 226. 243
その他	60. 74. 75. (100. 101. 121. 131). 129※カッコ内は動線の変形

↓  
より身近な環境

## 2. Different (多様)

異なる機能を互いに認め「共存(co-exist)」「相互作用(connection)」を促す環境の創造を目的とする P.L の主なレトリックは 4 つで、「小さい(small)」「囲む(enclosure)」では個々を区分=明確にし、「分散(distribution)」「連続性(continuity)」を意味する様々なレトリックでは互いの関係性を深めている。又、private zone と public zone の境界機能を持つ「窓(window)」「ドア(door)」等のパタンを変形操作し、「連続性(continuity)」を作り出す手法も取り上げている。

レトリック	パタン番号
小さい (small)	89. 35. 46. 103. 137. 239
囲む (enclosure)	4. 111. 146. 166. 183. 193
分散 (distribution)	3. 4. 8. 9. 27. 40. 76. 77. 103. 152. 239. 251
連続性 (continuity)	3. 38. 42. 108. 111. 115. 119. 130. 137. 152. 158. 166. 179. 183. 193
その他	159. 130. (221. 222. 231. 236. 237)※カッコ内は窓・ドアの工夫

↓  
関係性の向上・個々の区分

## 3. Belong (帰属)

「所属感(belong)」「結束感(organization)」「精神的ル

ーツ(spiritual roots)」等を彷彿させる環境の創造を目的とする P.L の主なレトリックは 3 つで、「小さい(small)」「囲む(enclosure)」で環境を限定する以外に、「自足性(self-)」をスパイスとして環境への親和性を高める使用も見られる。そして、環境を限定する手法をより効果的にする為に、「焦点の作成(focus)」「腰掛の作成(seat)」を取り上げている。

レトリック	パタン番号
小さい (small)	14. 22. 37. 70. 143
自足性 (self-)	24. 62. 147
囲む (enclosure)	70. 143. 191. 252
腰掛の作成 (seat)	70
焦点の作成 (focus)	14. 147
その他	22. 70

## 4. Independence (自立)

「自足性(self-contained)」「自主管理性(self-governing)」を促す環境の創造を目的とする P.L の主なレトリックは「小さい(small)」「分散(decentralize)」「明示(mark)」等であり、環境の認識を目的としているが、「管理権の取得(give control)」といった直接的な手法も取り上げている。

レトリック	パタン番号
小さい (small)	1. 6. 80. 155
分散 (decentralize)	12. 78. 154. 155
明示 (mark)	12. 154
管理権 (give control)	79. 84
その他	86. 178

## 5. Quiet (静寂)

「静寂(quiet)」を確保する事を目的とする P.L は、(活動)(刺激・変化)(利便性)等の一見相反する他の価値や、(個性)(安心)等の(静寂)を発展させた価値との組み合わせが殆どである。これは(静寂)の環境価値が、単体で十分に機能しにくいことを意味している。これは主なレトリックに「囲む(enclosure)」以外に「連続性 (continuity)」が比較的多く見られる事からも伺える。

レトリック	パタン番号
囲む (enclosure)	49. 51. 59. 173. 176
連続性 (continuity)	28. 29. 30. 32
短い (short)	32
分散 (distributed)	30

↓  
静寂から移行

## 6. Activity (活動)

環境の「活性化 (positive)」を目的とする P.L の主なレトリックは 5 つで、「小さい(small)」「集合(gathering)」「焦点の作成(focus)」で環境を活性化し、「焦点の分散(distributed)」「連続性(continuity)」により環境に時間性を付加している。又、時間性を与える手法と

して融通性を生む目的での様々なレトリックも見られる。

レトリック	ボタン番号
小さい (small)	44. 45. 61. 113. 123. 151
集合 (gathering)	33. 93. 185
焦点の作成 (focus)	52. 63. 92. 126. 133. 150
連続性 (continuity)	28. 48. 116. 175. 194
焦点の分散 (distributed)	30. 72. 151
その他	132. (153. 167. 177) ※カッコ内は大らかな意味での融通性



### 7. Learning (学習)

「勉強 (study)」では無く「学ぶ (learn)」為の環境創造を目的とする P.L のレトリックは 3 つで、「小さい (small)」で学習環境を確保し、「連続性(continuity)」 「分散(scatter)」によって相互作用を促し、学習環境の充実を図っている。

レトリック	ボタン番号
小さい (small)	43. 83. 85
連続性 (continuity)	18. 85. 165
分散 (scatter)	43



### 8. Individual (個性)

「独自性(originality)」「人間性(human)」のある環境の創造と、「自己統一性(identity)」等の (個性)の成長を促す環境の創造を目的としている P.L の主なレトリックは 3 つで、「小さい(small)」「明示(mark)」で個々を明確にする他「連続性(sequence)」で各々の機能素を一つの個として表現する事を可能としている。

レトリック	ボタン番号
小さい (small)	49. 51. 59. 173. 176
明示 (mark)	28. 29. 30. 32
腰掛の作成 (seat)	32
私的 (private)	30
連続性 (sequence)	58. 68. 73. 95. 122. 142. 205. 209. 210
その他	8. 10. 141. 201

### 9. Nature (自然)

自然の恵みを具体的に享受する P.L には、レトリックに一貫性は無い。しかし、全体的に「保護する(preserve)」等、受身的なものが多い。又、享受を共有する意味合いで「分散(scatter)」も使用され、自然に対するアレキサンダーの姿勢を伺う事が出来る。

レトリック	ボタン番号
保護 (preserve)	25. 71
分散 (scatter)	60. 71
その他	4. 29. 38. 64. 74. 105. 107. 128. 138. 161. 168. 169. 171 174. 178. 199. 230. 238. 241. 244. 245. 246. 247. 248. 250

### 10. Convenience (利便性)

利便性を生み出す P.L の主なレトリックは「明示 (visible)」「小さい (small)」「網目状 (web)」「連続性 (continuity)」等が挙げられるが、具体的な施工方法が明記されたものも取り上げている。

レトリック	ボタン番号
明示 (mark)	34. 97. 98. 99. 102. 110.
小さい (small)	20. 32. 89. 98. 184. 200
網目状 (web)	16. 19. 23
連続性 (continuity)	29. 34. 189. (208)
その他	89. (145. 153. 162. 178. 195. 212. 215. 229. 235)

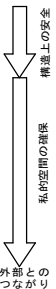
※カッコ内は施工・構造手法を具体的に示唆

### 11. Shelter (安心)

安心を生み出す P.L は、構造等の安全性による安心感と、私的空間の確保による安心感に大まかに 2 つに分か

れる。安全性による安心感は「明示(visible)」「厚み (thin)」等のレトリックを使用し、更に具体的な施工方法を取り上げている。又、私的空間確保による安心感は「離す(separate)」「小さい(small)」「囲む(enclosure)」「腰掛の作成(seat)」の順に、より私的度を増す様に使用されている。しかし同時に「窓(window)」をレトリックに用いる例も多く、アレクサンダーが外部との接触を重要視している事が伺える。

レトリック	ボタン番号
明示 (visible)	33. 55. 56. 57. 94. 116
厚みの作成 (thin)	206. 225
その他	50. 54. 213. 214. 216
離す (separate)	136. 140
小さい (small)	47. 114. 179. 187. 188. 212
囲む (enclosure)	11. 17. 49. 57. 65. 106. 111. 114. 117. 118. 140. 163. 173. 176. 180. 187 188. 196. 203. 204. 212. 220
連続性 (continuity)	217. 218. 219
柔らかさ (soft)	233. 235
腰掛の作成 (seat)	94. 118. 176. 180. 202. 242
その他	21. 96. 144. 192
窓 (window)	164. 180. 187. 196



### 12. Stimulation (刺激)・Change (変化)

変化・刺激を生み出す P.L の主なレトリックは、物理的变化を促す「光、方向、高さ等の変化 (changes 《light, transition, level》)」と、眺望の変化を促す「腰掛の作成(seat)」「焦点の作成(focus)」である。更に「分散 (distributed)」「連続性(continuity)」で時間性の付加も見られる。

レトリック	ボタン番号
光の変化 (light)	135. 223. 238
方向の変化 (transition)	112. 198
高さの変化 (level)	190. 224
腰掛の作成 (seat)	90. 125. 241. 242
焦点の作成 (focus)	90. 120. 134
分散 (distributed)	10
連続性 (continuity)	29. 120
その他	247



### 考察

以上、12 個の環境価値について見てきたが、Nature を除いた殆どのレトリックはほぼ共通である。Small、Enclosure、Focus、Seat はどの環境価値においても重視されており、身近に感じられる環境、更に Mark、Oneself 等で自立性を演出し、愛着を得る環境である事、同等に Continuity、Distributed(Scatter)も重視されており、相互作用のある環境である事も重要である。この様にレトリックから良好な住み心地を得る為には、『自然』『個』『交流』がポイントであると考えられる。12 個の環境価値は田舎(奇数番号)と都会(偶数番号)に分けられ、「都市はツリーではない」との宣言を裏付ける結果となっている。住み心地は矛盾の中に存在するのである。

### おわりに

住み心地は想像力の支援を必要とするとして、アレクザンダーの著作で確信を得た。さらに探索の視野を広げて想像力を養いたいと考える。

\*1 広島女学院大学生生活科学部教授 \*2 同大学院生